

一般社団法人教育システム情報学会 第4回社員総会議案書

1. 日時：2018年6月30日（土） 15:00～
2. 会場：大阪府立大学 I-site なんば
大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号
南海なんば第1ビル2階

第1号議案 2017年度活動報告に関する件

第2号議案 2017年度決算報告に関する件

第3号議案 名誉会員承認に関する件

[報告事項]

I 2018年度活動計画に関する件

II 2018年度予算計画に関する件

一般社団法人教育システム情報学会
(*Japanese Society for Information and Systems in Education*)

第1号議案 2017年度活動報告に関する件

2017年度の活動について次のとおり報告いたします。

1 会員数

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員	合計
2016年度末会員数 2017.3.31時点	2	1132	160	23	1317
2017年度入会	6	57	42	0	105
2017年度会員種別変更	4	6	△10	0	0
2017年度退会	0	△64	△17	△2	△83
2017年度末会員数 2018.3.31時点	12	1131	175	21	1339
2017年度増減数	10	△1	15	△2	22

2 役員構成

会長	仲林 清	千葉工業大学
副会長	不破 泰	信州大学
	柏原 昭博	電気通信大学
理事	越智 洋司	近畿大学
	加藤 泰久	東京通信大学
	小尻 智子	関西大学
	小西 達裕	静岡大学
	小林 建太郎	株式会社デジタル・ナレッジ
	小松川 浩	千歳科学技術大学
	鈴木 克明	熊本大学
	瀬田 和久	大阪府立大学
	鷹岡 亮	山口大学
	中西 通雄	大阪工業大学
	西野 和典	九州工業大学
	西端 律子	畿央大学
	長谷川 忍	北陸先端科学技術大学院大学
	平嶋 宗	広島大学
	布施 泉	北海道大学
	前迫 孝憲	大阪大学
	真嶋 由貴恵	大阪府立大学
	松居 辰則	早稲田大学
	松浦 健二	徳島大学
	松原 行宏	広島市立大学
山崎 治	千葉工業大学	
監事	渡辺 博芳	帝京大学
	戸田 博人	株式会社富士通ラーニングメディア
事務局長	永岡 慶三	早稲田大学
	加藤 泰久	東京通信大学
副事務局長	山崎 治	千葉工業大学

3 運営活動

3.1 第3回社員総会

日時：2017年6月24日（土）
場所：大阪府立大学 I-site なんば

3.2 理事会

○第16回理事会

日時：2017年5月27日（土）
場所：関西大学 東京センター

○第19回理事会

日時：2017年12月16日（土）
場所：北陸先端大 東京サテライト

○第17回理事会

日時：2017年6月24日（土）
場所：大阪府立大学 I-site なんば

○第20回理事会

日時：2018年3月24日（土）
場所：北陸先端大 東京サテライト

○第18回理事会

日時：2017年8月24日（木）
場所：北九州国際会議場

3.4 支部長会

○第13回支部長会

日時：2017年5月27日（土）
場所：関西大学 東京センター

○第15回支部長会

日時：2017年12月16日（土）
場所：北陸先端大 東京サテライト

○第14回支部長会

日時：2017年8月24日（木）
場所：北九州国際会議場

○第16回支部長会

日時：2018年3月24日（土）
場所：北陸先端大 東京サテライト

4 事業活動

4.1 委員会活動

1) 重点領域検討委員会

- ①2017年度大会（北九州）期間中に立ち上げの委員会を開催した。
- ②Learning Analytics (LA) 部会、医療看護部会、情報教育部会それぞれでの活動を行った。
- ③2018年度全国大会での企画セッションを提案した。
- ④新しい研究部会（AI・ロボット・VR/AR）をはじめとする先端的技術を用いた学習支援（部会長：柏原昭博）の立ち上げを検討した。
- ⑤医療看護部会は医療系 e-ラーニング全国交流会の開催を支援した。
- ⑥ Learning Analytics 部会（LA 部会）では、2018年3月21日（水）に京都大学に於いて情報処理学会教育学習支援情報システム（CLE; Collaboration and Learning Environment）研究会、学習分析学会、日本教育工学会 SIG03「教育・学習支援システムの開発・実践」、人工知能学会先進的学習科学と工学（ALST: Advanced Learning Science and Technology）研究会との合同で Learning Analytics に関するシンポジウム「学際的アプローチによる実効性のある LA の実現を目指して」を開催した。参加者は延べ80名程度であった。

2) 広報委員会

- ①Web サイト、ニューズレター、Facebook、Twitter による日常的な広報活動を実施した。
- ②支部・委員会等で使用するメーリングリスト、委員会ポータルの管理を行った。
- ③会員へのメール配信（JNEWS）を行った。
- ④関東支部の Web サイトを開設した。
- ⑤委員会を1回開催し、他についてはメールで審議した。

3) 学会誌編集委員会

- ①論文誌 34(2)から 35(1)まで年4巻を刊行した。解説3本、原著論文5本（35(1)より一般論文に呼称変更）、実践論文9本、ショートノート7本、実践速報5本を掲載した。

- ②特集号 35(2)「安心・安全な社会に貢献する教育システム／プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム」の刊行準備を進めた。
- ③全国大会チュートリアルでは論文投稿促進のため、論文執筆チュートリアルを実施した。
- ④特集論文研究会を研究会委員会と連携して開催した。
- ⑤学会誌編集委員会を年5回開催した。
- ⑥論文誌アーカイブ化事業として、学会誌 30 巻 3 号から 27 巻 1 号までさかのぼり、J-Stage への登録作業を進めることとした。29 巻 3 号までは公開され、29 巻 2 号から 27 巻 1 号までは 2018 年 6 月上旬を目処に順次公開作業を進める。
- ⑦投稿受付システムの改修（会員管理システムとの連動）を行った。

4) 英文誌編集委員会

- ①2017 年においては、17 件の投稿があり、採録 8 件 (Original Paper:3, Practical Paper:2, ShortNote:1, Report on Practice:2)、返戻 5 件、取り下げ 1 件、審議中 3 件となっている。採録の内 2 件は、Vol. 16 に掲載済み。残りは Vol. 17 に掲載予定。
- ②2018 年夏季募集分を 5 月末締切として現在募集中である。
- ③英文誌編集委員会を開催した (2016 年 8 月 25 日)。論文の判定審議等で複数回メール会議を開催した。

5) 研究会委員会

- ①6 回の定期研究会および 1 回の特集論文研究会を開催し、計 117 件の発表が行われた。
- ②全国大会の企画セッションでは、5 件企画提案し実施した。
- ③2016 年度研究会優秀賞 3 件を選出し、全国大会において表彰した。
- ④和文誌編集委員会に、2 件の研究会推薦論文の推薦を行った。
- ⑤委員会を年 1 回開催した。
- ⑥研究会において正当な根拠なく参加者の尊厳を侵害するような行為に対して対応するための、「研究会における不適切な質問への対応について」を策定した。
- ⑦発表受付システムの改修（会員管理システムとの連動）を行った。

6) 全国大会委員会

- ①2017 年 8 月 23 日 (水) から 25 日 (金)、北九州国際会議場 (大会実行委員長：九州工業大学 西野和典) にて全国大会を実施した。テーマ「未来を拓く情報学と教育の情報化」
- ②全国大会委員会・大会実行委員会を年に数回開催した。
- ③全国大会奨励賞を決定し表彰を行った。
- ④大会企画として、「情報学のためでない情報教育」のテーマで、萩谷 昌己 (東京大学 情報理工学系研究科 教授) より特別講演を頂いた。また現地企画で、「新学習指導要領における情報活用能力の位置付け」として、鹿野 利春 (国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官) より基調講演を頂いた。
- ⑤発表受付システムの改修（会員管理システムとの連動）を行った。

7) 人材育成委員会

- ①全国大会にて学生特別セッションと懇親会での若手紹介企画を実施した。
- ②学会等による人材育成関連事業に関する実態調査を行った。
- ③2017 年度教育・学習支援システム若手の会 (11 月 17 日-19 日) に協賛した。
- ④2018 年 2 月末から 3 月にかけて全国 8 カ所で学生研究発表会を企画し実施した。
- ⑤教育・学習支援システム若手の会との連携に関する意見交換を継続的に行った。
- ⑥若手研究者科研申請支援制度の制度設計について検討した (継続中)

8) 顕彰委員会

- ①論文賞選定委員会 (委員長：小西 達裕)：選定の結果、2017 年度論文賞 1 件を決定し表彰を行った。
受賞論文 (実践系)
「初心者から上級者までシームレスにプログラミングを学ぶことができる持続可能な学習環境の構築」
野口 孝文、千田 和範、稲守 栄
- ②学生研究発表会優秀賞選定委員会 (人材育成委員会担当、委員長は各会場選出)：選定の結果、優秀発表賞 18 件、優秀ポスター発表賞 8 件を決定し表彰を行った。

③功績賞・功労賞選定委員会(委員長：前迫 孝憲)：2017年度は受賞者を選定することが出来なかった。

9) 産学連携委員会

①ラーニングイノベーショングランプリ (LIGP)

LIGP2017 総括打合せを実施した。

LIGP2018 準備活動、方針検討、実行委員会連携、広報活動を実施した。

②産学連携調査活動

産学連携アンケートをメール等の広報を通じて実施した (WEB 入力、集計)。

産学連携の視点から、過去3年分の全国大会の発表原稿の調査・分析を実施した。

③その他 2018 年度活動への準備

ラーニングイノベーション2018 (イベント) 会場での JSiSE 研究ブース展示に関する準備・手続きを実施した。

2018 年度全国大会での企画検討・準備を実施した。

④委員会活動

委員会を予定通り年4回(とオンライン個別打合せ5回)開催し、上記①-③に関する議論を実施した。

4.2 支部活動

1) 北海道支部

①支部総会を2017年6月10日、北海道大学で開催した。

②支部役員会を2018年3月11日に、千歳市まちライブラリーで開催した。

③北海道地区の学生研究発表会 (千歳市まちライブラリー：3月11日開催) に協力した。

④北海道支部役員をコアとする2018年度全国大会の現地実行委員会を組織し、3月12日に北星学園大学での全国大会委員会との合同委員会を行った。

⑤臨時支部役員会を3月12日に北星学園大学にて行った。

2) 関東支部

①支部役員会を2017年9月29日(金)に、早稲田大学 (早稲田キャンパス) で開催した。

②支部設立総会を2018年1月6日(土)に、神奈川工科大学 アクティブラーニング横浜で開催した。

③支部設立記念講演会「情報教育とプログラミング」(講師：寛捷彦早稲田大学名誉教授)を2018年1月6日(土)に、神奈川工科大学アクティブラーニング横浜で開催した。

④ 学生研究発表会 関東地区の開催に協力した。研究発表会に加えて支部独自の取り組みとしてラウンドテーブルを実施し、支部長賞を3名選定の上、表彰を行った。

⑤支部の広報を充実するため、支部 web ページ (<http://www.jsise.org/~kanto/>) および Facebook ページ (<https://www.facebook.com/JSiSEKanto/>) を開設した。

3) 北信越支部

①支部会員の過度な負担なく運営できる体制を取るため、会議等は可能な限り、Web 会議システムやメールを活用して行った。

②支部総会を2017年5月24日に Web 会議システムにて実施した。

③支部役員会を2017年5月24日に Web 会議システムにて、2018年3月5日に長岡技術科学大学にて実施した。

④電子情報通信学会信越支部大会 (2017年10月7日、信州大学) を共催した。

⑤第4回研究会 (2017年12月2日、金沢工業大学) の開催支援を行った。

⑥博士課程の学生を対象とした「成果発表を磨くワークショップ」を、2018年3月4日に長岡技術科学大学にて開催した。

⑦北信越支部学生研究発表会を、2018年3月5日に長岡技術科学大学にて開催した。

4) 東海支部

①役員会を2017年5月13日(土)に名城大学で、2017年12月16日(土)に名古屋都市センター貸会議室で開催した。

②支部総会を2017年5月13日(土)に名城大学で開催した。

③講演会を2017年5月13日(土)に名城大学で、12月16日(土)に名古屋都市センター貸会議室で開催した。

④学習会を2017年7月29日(土)名古屋工業大学で開催した。

- ⑤計測自動制御学会中部支部教育工学研究会に対して2017年9月15日(金)大同大学での開催に協賛した。
- ⑥2017年8月23日(水)全国大会のプレカンファレンスにて、ワークショップを企画し、東海支部での日頃の研究成果を発表した。
- ⑦東海地区の学生研究発表会(2018年3月6日(火)、愛知県立大学サテライトキャンパス)の開催に協力した。毎年、東海支部が独自に行っている支部長賞を1名選定して表彰した。
- ⑧関連学会として、電子情報通信学会教育工学研究会(ET)が2017年6月10日(土)に静岡大学浜松キャンパスで行われ、東海支部メンバーが開催に携わった。

5) 関西支部

- ①支部総会を2017年6月4日、コロナホテルにて開催した。
- ②支部研究会(産学連携)を2017年6月4日、コロナホテルにて開催した。
- ③若手研究者フォーラムを2017年11月26日、大阪教育大学にて開催した。
- ④第13回情報教育合同研究会を2017年11月25日、園田学園女子大学にて、他学会と共催した。
- ⑤学生研究発表会を2018年2月26日、関西学院大学にて開催した。
- ⑥支部役員会を2018年2月26日、関西学院大学にて開催した。

6) 中国支部

- ①支部役員会を2017年7月29日広島女学院大学にて開催した。
- ②臨時支部総会を2017年7月29日広島女学院大学にて開催した。
- ③支部研究発表会(特別講演1件、一般講演7件)を2017年7月29日広島女学院大学にて開催した。
- ④支部役員会を2018年3月3日広島大学東千田キャンパスにて開催した。
- ⑤学生研究発表会(広島大学東千田キャンパス)の開催に協力した。

7) 九州支部

- ①支部総会を2017年5月25日、福岡工業大学にて開催した。
- ②支部役員会を2018年3月1日、佐賀大学にて開催した。
- ③九州地区学生研究発表会を2018年3月1日、佐賀大学にて開催した。

4.3 学会誌の発行(学会誌編集委員会および英文誌編集委員会所掌)

学会誌(和文誌)	英文誌
Vol. 34, No. 2 JSiSE2017 2017年 4月 1日	Vol. 16, No. 1 JSiSE2017 2017年
Vol. 34, No. 3 JSiSE2017 2017年 7月 1日	
Vol. 34, No. 4 JSiSE2017 2017年 10月 1日	
Vol. 35, No. 1 JSiSE2018 2018年 1月 1日	

4.4 研究報告書の発行(研究会委員会所掌)

Vol. 32, No. 1 研究報告 2017年 5月 13日	Vol. 32, No. 5 研究報告 2018年 1月 6日
Vol. 32, No. 2 研究報告 2017年 7月 8日	Vol. 32, No. 6 研究報告 2018年 3月 17日
Vol. 32, No. 3 研究報告 2017年 9月 22日	Vol. 32, No. 7 研究報告 2017年 3月 17日
Vol. 32, No. 4 研究報告 2017年 12月 2日	

4.5 ニュースレターの発行(広報委員会所掌)

No. 208 2017年 5月 31日	No. 211 2017年 11月 30日
No. 209 2017年 7月 31日	No. 212 2018年 1月 31日
No. 210 2017年 9月 30日	No. 213 2018年 3月 31日

4.6 全国大会講演論文集の発行(全国大会委員会所掌)

第42回全国大会講演論文集 2017年8月

4.7 研究会の開催（研究会委員会所掌）

研究会名	テーマ	日時	会場
第1回研究会	学習環境デザインと Learning Analytics・学習サービス／医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用／一般 ※学習分析学会、情報処理学会「教育学習支援情報システム(CLE)研究会」との合同開催	5月13日（土）	国立情報学研究所
第2回研究会	ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般 ※共催：信州大学総合情報センター	7月8日（土）	信州大学 （松本キャンパス中央図書館）
第3回研究会	組織的な e ラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用／一般	9月22日（金）	サイバー大学 （福岡キャンパス）
第4回研究会	適応的なスキル学習支援／一般 ※電子情報通信学会「教育工学(ET)研究会」との合同開催	12月2日（土）	金沢工業大学
第5回研究会	新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般	2018年 1月6日（土）	神奈川工科大学 （アクティブラーニング横浜）
第6回研究会	初等教育とプログラミング／一般	3月17日（土）	畿央大学
特集論文研究会	特集号研究会：新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境		

4.8 全国大会（全国大会委員会所掌）

第42回全国大会

日時：2017年8月23日（水）～25日（金）

場所：北九州国際会議場

第2号議案 2017年度決算報告に関する件

2017年度の決算を、次のように報告いたします。

貸借対照表

2018年 3月31日現在

一般社団法人教育システム情報学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	25,036,878	24,619,819	417,059
未収金	739,798	787,500	△ 47,702
棚卸資産	234,782	366,523	△ 131,741
流動資産合計	26,011,458	25,773,842	237,616
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
法人運営積立資産	4,630,612	4,614,896	15,716
大会企画等事業積立資産	8,997,056	8,996,789	267
特定資産合計	13,627,668	13,611,685	15,983
固定資産合計	13,627,668	13,611,685	15,983
資産合計	39,639,126	39,385,527	253,599
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,993,455	2,450,394	△ 456,939
前受会費	2,760,000	3,198,000	△ 438,000
預り金	2,341	0	2,341
流動負債合計	4,755,796	5,648,394	△ 892,598
負債合計	4,755,796	5,648,394	△ 892,598
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	34,883,330	33,737,133	1,146,197
(うち特定資産への充当額)	(13,627,668)	(13,611,685)	(15,983)
正味財産合計	34,883,330	33,737,133	1,146,197
負債及び正味財産合計	39,639,126	39,385,527	253,599

正味財産増減計算書

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

一般社団法人教育システム情報学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	19,255	19,188	67
特定資産受取利息	19,255	19,188	67
受取入会金	56,000	54,000	2,000
受取入会金	56,000	54,000	2,000
受取会費	8,639,000	8,956,000	△ 317,000
正会員受取会費	7,203,000	7,357,000	△ 154,000
学生会員受取会費	486,000	549,000	△ 63,000
賛助会員受取会費	950,000	1,050,000	△ 100,000
事業収益	12,136,725	11,249,633	887,092
学会誌販売収益	163,800	154,800	9,000
研究報告購読料等収益	1,384,000	1,396,000	△ 12,000
研究報告販売収益	178,400	187,600	△ 9,200
和文誌論文掲載料収益	2,181,000	1,350,000	831,000
英文誌論文掲載料収益	385,000	580,000	△ 195,000
予稿集論文掲載料収益	229,000	221,000	8,000
企業広告収益	3,270,000	3,210,000	60,000
抄録集・著作権使用料等収益	52,545	71,333	△ 18,788
全国大会収益	4,058,980	3,832,900	226,080
学生研究発表会収益	234,000	246,000	△ 12,000
受取補助金等	1,000,000	0	1,000,000
受取地方公共団体補助金	1,000,000	0	1,000,000
雑収益	157	147,348	△ 147,191
受取利息	157	227	△ 70
雑収益	0	16,758	△ 16,758
期末在庫刊行物	0	130,363	△ 130,363
経常収益計	21,851,137	20,426,169	1,424,968
(2) 経常費用			
事業費	16,225,970	12,981,645	3,244,325
学会誌印刷費	2,579,040	2,405,862	173,178
学会誌別刷印刷費	509,328	372,060	137,268
J-Stageアーカイブ費用	458,460	0	458,460
システム改修費	727,650	0	727,650
その他印刷費	365,493	514,079	△ 148,586
学会誌委託費	757,645	847,475	△ 89,830
英文誌委託費	368,692	391,149	△ 22,457
研究会委託費	1,426,194	1,728,054	△ 301,860
その他支援費	995,528	402,269	593,259
全国大会費	5,177,716	4,031,377	1,146,339
企画セミナー費	85,620	0	85,620
支部事業費	121,385	80,945	40,440
通信運搬費	554,522	544,151	10,371
会議費	243,994	193,547	50,447
旅費交通費	141,747	62,076	79,671
給与手当	689,210	705,260	△ 16,050
消耗品費	152,676	120,177	32,499
広告宣伝費	659,880	321,840	338,040
顕彰事業費	36,909	83,328	△ 46,419
租税公課	106	117	△ 11
雑費	174,175	177,879	△ 3,704
管理費	4,347,229	4,267,441	79,788
封筒印刷費	40,500	70,200	△ 29,700
その他印刷費	10,286	17,883	△ 7,597
通信運搬費	159,422	113,925	45,497
旅費交通費	12,334	41,584	△ 29,250
賃借料	7,400	0	7,400
租税公課	66,963	68,213	△ 1,250
支払報酬料	110,982	0	110,982
事務委託費	3,468,270	3,145,599	322,671
Web選挙システム運用費	0	334,800	△ 334,800
会員情報管理システム運用費	468,148	472,791	△ 4,643
雑費	2,924	2,446	478
経常費用計	20,573,199	17,249,086	3,324,113
評価損益等調整前当期経常増減額	1,277,938	3,177,083	△ 1,899,145
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,277,938	3,177,083	△ 1,899,145
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
棚卸減耗費	131,741	0	131,741
経常外費用計	131,741	0	131,741
当期経常外増減額	△ 131,741	0	△ 131,741
当期一般正味財産増減額	1,146,197	3,177,083	△ 2,030,886
一般正味財産期首残高	33,737,133	30,560,050	3,177,083
一般正味財産期末残高	34,883,330	33,737,133	1,146,197
II 正味財産期末残高	34,883,330	33,737,133	1,146,197

予算対比正味財産増減計算書

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

一般社団法人教育システム情報学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	19,255	△ 19,255
特定資産受取利息	0	19,255	△ 19,255
受取入会金	60,000	56,000	4,000
受取入会金	60,000	56,000	4,000
受取会費	8,592,000	8,639,000	△ 47,000
正会員受取会費	7,168,000	7,203,000	△ 35,000
学生会員受取会費	424,000	486,000	△ 62,000
賛助会員受取会費	1,000,000	950,000	50,000
事業収益	9,617,000	12,136,725	△ 2,519,725
学会誌販売収益	200,000	163,800	36,200
研究報告購読料等収益	1,360,000	1,384,000	△ 24,000
研究報告販売収益	250,000	178,400	71,600
その他刊行物販売収益	22,000	0	22,000
和文誌論文掲載料収益	1,500,000	2,181,000	△ 681,000
英文誌論文掲載料収益	335,000	385,000	△ 50,000
予稿集論文掲載料収益	200,000	229,000	△ 29,000
企業広告収益	2,650,000	3,270,000	△ 620,000
抄録集・著作権使用料等収益	50,000	52,545	△ 2,545
全国大会収益	2,800,000	4,058,980	△ 1,258,980
学生研究発表会収益	250,000	234,000	16,000
受取補助金等	1,020,000	1,000,000	20,000
受取地方公共団体補助金	1,000,000	1,000,000	0
受取民間助成金	20,000	0	20,000
雑収益	62,070	157	61,913
受取利息	2,070	157	1,913
期末在庫刊行物	60,000	0	60,000
経常収益計	19,351,070	21,851,137	△ 2,500,067
(2) 経常費用			
事業費	15,867,630	16,225,970	△ 358,340
学会誌印刷費	2,000,000	2,579,040	△ 579,040
学会誌別刷印刷費	300,000	509,328	△ 209,328
J-Stageアーカイブ費用	400,000	458,460	△ 58,460
システム改修費	727,650	727,650	0
その他印刷費	361,000	365,493	△ 4,493
学会誌委託費	800,000	757,645	42,355
英文誌委託費	700,000	368,692	331,308
研究会委託費	1,193,500	1,426,194	△ 232,694
研究会委員会支援費	35,000	0	35,000
その他支援費	1,206,600	995,528	211,072
全国大会費	4,700,000	5,177,716	△ 477,716
企画セミナー費	100,000	85,620	14,380
特別支援費	100,000	0	100,000
支部事業費	150,000	121,385	28,615
賃借料	10,080	0	10,080
通信運搬費	757,400	554,522	202,878
会議費	166,000	243,994	△ 77,994
旅費交通費	421,000	141,747	279,253
給与手当	744,000	689,210	54,790
消耗品費	137,000	152,676	△ 15,676
広告宣伝費	550,000	659,880	△ 109,880
顕彰事業費	105,000	36,909	68,091
租税公課	0	106	△ 106
雑費	160,000	174,175	△ 14,175
予備費	43,400	0	43,400
管理費	5,222,000	4,347,229	874,771
封筒印刷費	70,000	40,500	29,500
その他印刷費	46,000	10,286	35,714
通信運搬費	168,000	159,422	8,578
会議費	95,000	0	95,000
旅費交通費	150,000	12,334	137,666
消耗品費	45,000	0	45,000
賃借料	0	7,400	△ 7,400
租税公課	70,000	66,963	3,037
支払報酬料	0	110,982	△ 110,982
事務委託費	3,800,000	3,468,270	331,730
会員情報管理システム運用費	600,000	468,148	131,852
雑費	30,000	2,924	27,076
予備費	148,000	0	148,000
経常費用計	21,089,630	20,573,199	516,431
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,738,560	1,277,938	△ 3,016,498
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,738,560	1,277,938	△ 3,016,498
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
棚卸減耗費	60,000	131,741	△ 71,741
経常外費用計	60,000	131,741	△ 71,741
当期経常外増減額	△ 60,000	△ 131,741	71,741
当期一般正味財産増減額	△ 1,798,560	1,146,197	△ 2,944,757
一般正味財産期首残高	33,737,133	33,737,133	0
一般正味財産期末残高	31,938,573	34,883,330	△ 2,944,757
II 正味財産期末残高	31,938,573	34,883,330	△ 2,944,757

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準および評価方法は、移動平均法による低下基準による。

(2) 引当金の計上基準

引当金の計上はしていない。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方法による。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
法人運営積立資産	4,614,896	15,716	0	4,630,612
大会・企画等事業積立資産	8,996,789	591	324	8,997,056
合 計	13,611,685	16,307	324	13,627,668

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対する額)
特定資産				
法人運営積立資産	4,630,612	(—)	(4,630,612)	—
大会・企画等事業積立資産	8,997,056	(—)	(8,997,056)	—
合 計	13,627,668	(—)	(13,627,668)	—

(記載上の留意事項)

基金からの充当額がある場合には、財源の内訳として記載するものとする。

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金 当期末残高	債 権 当期末残高
未収金			
受取会費	517,000	0	517,000
学会誌論文掲載料収益	166,500	0	166,500
その他未回収分	56,298	0	56,298
合 計	739,798	0	739,798

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
第42回大会開催補助金	北九州コンベン ション協会	—	1,000,000	1,000,000	—	—
合 計		—	1,000,000	1,000,000	—	—

附属明細書

1. 特定資産の明細

「公益法人会計基準」の運用指針（平成20年4月11日平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）に定める附属明細書の記載上の留意事項に従い、財務諸表の注記2および3に記載しているので、内容の記載を省略とする。

財産目録

2018年3月31日現在

一般社団法人教育システム情報学会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金・預金	普通預金 みずほ銀行茨木支店 普通預金 三菱東京UFJ銀行上新庄支店 普通預金 ゆうちょ銀行75363431 普通預金 ゆうちょ銀行95620041 普通預金 ゆうちょ銀行69039531 普通預金 ゆうちょ銀行87704331 普通預金 ゆうちょ銀行78746331 普通預金 ゆうちょ銀行58137921 普通預金 ゆうちょ銀行75363451	運転資金として 同上 北海道支部運転資金として 北信越支部運転資金として 関東支部運転資金として 東海支部運転資金として 関西支部運転資金として 中国支部運転資金として 九州支部運転資金として	2,500,246 15,003,601 207,397 307,251 0 431,120 307,513 613,288 0
未収金	郵便振替貯金 東淀川瑞光店	運転資金として	5,666,462
棚卸資産	受取会費・学会誌論文掲載料収益等 頒布用バックナンバーの図書相当額	管理運営業務、事業運営業務の未収分 学術刊行物事業の保有分	739,798 234,782
流動資産合計			26,011,458
(固定資産) 特定資産			
法人運営積立資産	定額貯金 ゆうちょ銀行	法人の運転資金としての積立資産	4,630,612
大会企画等事業積立資産	普通預金 みずほ銀行茨木支店 定額貯金 ゆうちょ銀行	全国大会、企画セミナー、記念事業等の企画事業資産 同上	8,792,294 204,762
固定資産合計			13,627,668
資産合計			39,639,126
(流動負債)			
未払金	システム構築、HP運用費他 業務委託費他	事業運営業務の未払分 管理運営業務の未払分	1,993,455 958,942 1,034,513
前受会費	次年度以降会費	管理運営業務の受入分	2,760,000
正会員前受会費	次年度以降会費	管理運営業務の受入分	1,877,000
学生会員前受会費	次年度以降会費	管理運営業務の受入分	92,000
賛助会員前受会費	次年度以降会費	管理運営業務の受入分	400,000
研究報告購読料	次年度以降購読料	事業運営業務の受入分	391,000
預り金	源泉税	事業運営業務の預り分	2,341
流動負債合計			4,755,796
負債合計			4,755,796
正味財産			34,883,330

監 査 報 告 書

2018年 5月 15日

一般社団法人 教育システム情報学会
会長 仲林 清 殿

一般社団法人 教育システム情報学会

監事 永岡慶三 印 
監事 戸田博人 

私たち監事は、2017年4月1日から2018年3月31日までの第4期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財産目録、財務諸表に対する注記及びその附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第3号議案 名誉会員承認に関する件

名誉会員について、以下の通り理事会より推薦いたしますので、承認をお願いいたします。

岡部 成玄、 本田 敏明、 松本 豊司

[第4回社員総会 報告事項]

I 2018年度活動計画に関する件

1 活動方針

教育システム情報学会は、教育・学習のためのシステムに関する学術的情報の交換と研究・開発・利用を支援し、教育・学習と産業の発展に寄与することを目的としている。昭和49年8月にCAI学会として設立され、その後、現在の教育システム情報学会に名称を改め、平成26年に一般社団法人として法人組織化した。本学会の活動領域である教育分野におけるコンピュータ利用は、昨今の情報ネットワーク技術の一層の高度化に伴い社会的に大きな注目を集めている。このように重要な学術研究領域における研究の活性化、社会貢献の推進を進めるとともに、学会を取り巻く環境に柔軟に対応できるように、引き続き組織運営基盤の改革を進める。具体的には、以下のような課題認識のもとに活動を進める。

1.1 研究活動の活性化

定款第4条の(1)、(2)にあるように、本学会の研究活動の柱は、学会誌・英文誌における論文発表、研究会・全国大会での研究発表である。これらの活動においては、研究発表の質・量を拡充し、最終的には学会誌・英文誌に質の高い査読論文が多数の掲載されることが望まれる。現在、研究会・全国大会での研究発表は比較的活発に行われているが、学会誌・英文誌への論文投稿は非常に活発とは言い難い。従来より、研究会推薦論文制度、特集論文研究会など、論文投稿を活性化させる取り組みを行ってきたが、今後、一層の取り組み強化を図る。具体的には、論文カテゴリの新設・見直し、学会誌と英文誌の連携、研究会・全国大会との連携強化、論文投稿チュートリアルなどの取り組みを引き続き模索・検討・実施するほか、科研費などの競争的資金獲得支援の施策を検討・実施する。また、新たな研究分野を開拓するとともに、若手研究者に積極的な研究発信の場を設け、定款第4条の(4)の情報の収集・公表を促進するために、学会誌を中心に解説の特集を企画・推進する。さらに、定款第4条の(3)にあるように、他学会や教育関連諸団体との連携により、研究領域のすそ野の拡大を図る。特に、近年の人工知能、IoT、ロボット分野での技術進展の教育分野への応用を軸として、産業界との連携強化を継続的に推進する。その一端として、産業界の学会研究成果の認知度向上を狙いに、産業界主催の展示会との連携、全国大会などでの産学連携イベントなどを企画する。

1.2 支部活動の活性化

本学会には、新たに関東支部が設立され、現在全国に7つの支部がある。各支部の存在は、全国の会員の身近な活動の場として非常に重要である。各支部では、学生研究発表会をはじめ、セミナーや研究会など独自の活動を行っている。また、全国大会や研究会の開催など、学会本体と連携した活動も行っている。一方で、会計管理など、学会本体との運営業務の重複もあり、より効率的な組織運営が求められている。活動のシナジーを高めるため、各支部と学会本体の関係を見直し、イベント開催における連携強化などの施策を今後も模索していく。

1.3 会員増強

本学会の会員数は、現在約1300人で、近年減少傾向にある。学生会員の増強や、医療看護分野をはじめとする異分野との交流により会員数の増加を図る。会員メリットのある新たなサービスも模索していく。

1.4 学会運営基盤の改革

本学会の財務状況は比較的安定しているが、決して頑健とは言えない。今後、大幅な会員増加は見込めないことから、財務の安定化が喫緊の課題である。現在、会員管理システムや論文投稿システムなどを導入しているが、今後も、各種業務の見直しやIT化により、コスト削減を図るとともに、経営指標の迅速な把握を可能として、財務の健全な運営に向けた基盤を整備していく。事務局についても、専門業者への委託を行っており、さらなるコストの適正化と業務の迅速化・質向上を目指す。

1.5 法人化体制

法人化後数年が経過し、法人としての運営は安定しつつあるが、法人化によるオーバーヘッドも皆無とは言えない。法人化の意義・目的を再確認しつつ、法人化したことが学会発展の妨げとならないよう、理事会などの会議体での建設的な議論の活性化をはじめ、学会本来の目的を常に確認しつつ運営を進めていく。

2 運営活動計画

2.1 第4回社員総会

日時：2018年6月30日（土）
場所：大阪府立大学 I-site なんば

2.2 理事会

○第21回理事会
日時：2018年5月26日（土）
場所：早稲田大学 早稲田キャンパス

○第24回理事会
日時：2018年12月15日（土）
場所：未定

○第22回理事会
日時：2018年6月30日（土）
場所：大阪府立大学 I-site なんば

○第25回理事会
日時：2019年3月23日（土）
場所：北陸先端科学技術大学院 東京サテライト

○第23回理事会
日時：2018年9月5日（水）
場所：北星学園大学

2.3 支部長会

○第17回支部長会
日時：2018年5月26日（土）
場所：早稲田大学 早稲田キャンパス

○第19回支部長会
日時：2018年12月15日（土）
場所：未定

○第18回支部長会
日時：2018年9月4日（火）～6日（木）
のいずれかで開催
場所：北星学園大学

○第20回支部長会
日時：2019年3月23日（土）
場所：北陸先端科学技術大学院 東京サテライト

2.4 財務

会員管理システムを用い正確な会員管理を実現し、会費納入の定期的なリマインダーの発信、学生会員の円滑な正会員への移行等、会費納入状況の正確な把握とともに、納入率の向上を目指す。

また、財務管理チェックは定常業務として無理なくできるよう、四半期毎や前後期毎等のルールを確立する。さらに経費支出の承認ルールを確立し、支出状況のチェックと公明化を実現する。全体として、事務局業務を含む学会業務全体の IT 化・外注化・効率化を進めるとともに、会議経費等の節約に努める。

活動計画の実現には業務の IT 化が欠かせないが、予算が許す範囲で効率的に IT 化を実現することとする。

3 事業活動計画

3.1 委員会活動

1) 重点領域検討委員会

- ・本委員会は、次の業務の執行を目的とする（学会規約より抜粋）。
 1. 学会活性化のための研究課題領域の調査・検討に関する事項
 2. 研究課題領域に即した部会の設置に関する事項
 3. 部会運営のための基本方針に関する事項
 4. 部会のための組織の編成と運営に関する事項
 5. 部会による研究会等イベントのプログラムの編成と運営に関する事項
 6. 部会による研究会等イベントの開催と運営に関する事項
 7. 部会による研究会等イベントの開催場所の期間・場所に関する事項
 8. その他、部会全般の企画・管理・渉外・収支管理などに関する事項そのもとで、2018年度の事業活動計画の概要は以下の通りである。
 - (1) 部会ごとの活動を基本とする
 - (2) 全国大会での企画（企画セッション、プレカンファレンス等）
 - (3) 全国大会以外でのイベントの企画
 - (4) 新規部会の設置
 - (5) 部会活動の状況を共有・評価可能な仕組みの検討

2) 広報委員会

- ・年間を通じて、Webサイト・MLの管理を行う。
- ・年間を通じて、FacebookとTwitterを用いた情報発信を行う。
- ・奇数月の月末にニューズレターを発行する。（年6回）
- ・9月広報委員会を開催する。
- ・会員増加のための方策を検討する。

3) 学会誌編集委員会

- ・論文誌：期間中35(2)～36(1)の4回の刊行を行う。
- ・特集号：36(2)の特集号「新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境」につき、特集論文研究会と連携し、投稿の量・質の向上を図るとともに、スムーズな査読運営を行う。
- ・全国大会チュートリアル：論文投稿促進のためのチュートリアルを実施する。
- ・執筆要領を見直すとともに実践系論文執筆ガイドの制作を進める。
- ・本部と協力し、過去の学会誌の電子アーカイブ化を進める。
- ・解説記事を充実させる。
- ・編集委員会年4回開催予定。

4) 英文誌編集委員会

- ・学会員の研究成果を英文で発信のために、英文誌の編集を行う。このために、(1)英文投稿論文の受付、(2)英文投稿論文の審査・修正要請・採否決定、(3)採択された論文による英文誌の編集、を行う。

5) 研究会委員会

- ・6回の定期研究会および1回の特集研究会（編集委員会と共同）を開催する。
- ・全国大会において、研究会主催の企画セッションを開催する。
- ・研究会優秀賞の選定を行う。
- ・和文誌編集委員会に、研究会推薦論文の推薦を行う。
- ・全国大会に合わせて、研究会委員会を開催する（年1回開催予定）。

6) 全国大会委員会

- ・大会開催までに全国大会委員会を年3回実施予定。全国大会の開催は北星学園大学（北海道札幌市）で2018年9月4日（火）～6日（木）で実施。例年通り、プレカンファレンス・基調講演・招待講演・現地枠の他、インタラクティブセッションも設定する。またランチョンセミナーの実施も計画している。予算規模も、例年通りで考えている。

7) 人材育成委員会

- ・ 学生研究発表会の企画／運営
- ・ 若手の会主催のプレカンファレンス企画の全国大会での実施
- ・ 若手人材の育成／若手の会との連携
- ・ 若手研究者を対象とした科研費申請支援

8) 顕彰委員会

- ・ 功績賞・功労賞選定委員会を組織する。
- ・ 名誉会員の選出に向けた活動をおこなう。
- ・ 表彰規程に定める方法で、顕彰委員会のもとに、表彰の種類毎に選定委員会を設ける。

9) 産学連携委員会

- ・ 本委員会の目的（下記概要）に即した活動を実施する。
 - (1) 産学連携の活動方針を検討する
 - (2) 産学連携の推進・活性化に関する活動を行う
 - (3) 研究成果の社会還元に関する検討・活動を行う

3.2 支部活動

1) 北海道支部

- ・ 北海道で行われる全国大会に対し、北海道支部として、協力支援を行うとともに、北海道支部会員の研究交流の活性化を図る。

2) 関東支部

- ・ 関東支部活性化のための人的基盤の構築と広報を行う。
- ・ 関東支部範囲内に住所のある会員を対象に、研究活動の活性化をはかるため、特に若手研究者を育成するとともに、地域、企業、他学会や研究グループなどとの連携、に関する事業を行う。
- ・ 特に、企業との連携を促進する。

3) 北信越支部

- ・ 平成 30 年度は、昨年度に引き続き、支部活動の安定的運用を図る。そのため、支部役員の分業制を進め、支部会員の過度な負担のない年間活動の定常的な運営を行うための仕組みづくりを目指す。また、支部会員に支部の活動が見える広報体制作成の一環として支部 Web の活用をはかる。支部会員が、支部に所属しているメリットを感じる活動として他学会、産業界・官公庁等との連携の芽を生じさせる活動（他学会との共同研究会開催などを通じて、科研費などの予算を支部会員あるいは他学会と連携して獲得するための人脈を築くための活動や、若手研究者の育成のための活動、北信越支部研究者と民間企業の共同研究が実現できる場の提供など）を行う。

4) 東海支部

- ・ 本支部は、東海地区における会員同士の学術的交流の場を提供し、同地区の学術・教育・研究の活性化を図る。
- ・ 本支部は、講演会、研究会、学習会などの事業を展開し、会員の研究成果を発表する場を設ける。また、これらの事業を通じて、会員への情報提供を行う。
- ・ 本支部は、教育・情報・システムに関連する他学会等との連携・教育を深め、新しい研究の創出と発展に貢献する。

5) 関西支部

- ・ 関西支部会員の活動活性化を図る。特に、(1) 若手育成 (2) 産学連携 (3) 情報教育（プログラミング教育含む）に注力する。

6) 中国支部

- ・ 中国支部会員による研究交流の活性化を目指すとともに、中国支部に在籍する学生を中心にした学会活動参加への促進を図る。

7) 九州支部

- ・九州支部会員の活動活性化を図る。

4 学会誌の発行（学会誌編集委員会および英文誌編集委員会所掌）

学会誌（和文誌）

Vol. 35, No. 2 JSiSE2017（特集号）

Vol. 35, No. 3 JSiSE2017

Vol. 35, No. 4 JSiSE2017

Vol. 36, No. 1 JSiSE2018

英文誌

Vol. 17, No. 1 JSiSE2018

5 研究報告書の発行（研究会委員会所掌）

Vol. 33, No. 1 研究報告

Vol. 33, No. 2 研究報告

Vol. 33, No. 3 研究報告

Vol. 33, No. 4 研究報告

Vol. 33, No. 5 研究報告

Vol. 33, No. 6 研究報告

Vol. 33, No. 7 研究報告

6 ニュースレターの発行（広報委員会所掌）

No. 214 2018年 5月 31日

No. 215 2018年 7月 31日

No. 216 2018年 9月 30日

No. 217 2018年 11月 30日

No. 218 2019年 1月 31日

No. 219 2019年 3月 31日

7 全国大会講演論文集の発行（全国大会委員会所掌）

第43回全国大会講演論文集 2018年9月

8 研究会の開催 (研究会委員会所掌)

研究会名	テーマ	日時	会場
第1回研究会	学習環境デザインと実践のモデル/Learning Analytics/医療・看護・福祉における先進的 ICT 利用/一般	5月12日(土)	東京工芸大学
第2回研究会	ICTを活用した学習支援と教育の質保証/一般	7月21日(土)	内田洋行教育 ICT事業部名古屋丸紅ビル13F
第3回研究会	センサデバイスを活用した学習支援システム・ツールの開発/一般	9月29日(土)	高知大学 朝倉キャンパス
第4回研究会	システムティックなスキル向上支援環境/一般	10月27日(土)	徳島大学
第5回研究会	新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計/一般	2019年1月12日(土)	こらっせ福島
第6回研究会	プログラミング教育と情報の科学的理解/一般	2019年3月の土曜日	信州大学 (予定)
特集論文研究会	未定	2019年3月の土曜日	信州大学 (予定)

9 全国大会 (全国大会委員会所掌)

第43回全国大会

日時: 2018年9月4日(火)~6日(木)

会場: 北星学園大学

II 2018年度予算計画に関する件

以下の通り、2018年度予算計画を報告いたします。

1. 正味財産増減予算書（案）

（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	2018年度 予算額	2017年度 予算額
I一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
特定資産運用益	0	0
特定資産受取利息	0	0
受取入会金	50,000	60,000
受取入会金	50,000	60,000
受取会費	8,697,000	8,592,000
正会員受取会費	7,203,000	7,168,000
学生会員受取会費	544,000	424,000
賛助会員受取会費	950,000	1,000,000
事業収益	10,146,000	9,617,000
学会誌販売収益	200,000	200,000
研究報告購読料等収益	1,440,000	1,360,000
研究報告販売収益	200,000	250,000
その他刊行物販売収益	21,000	22,000
和文誌論文掲載料収益	2,000,000	1,500,000
英文誌論文掲載料収益	335,000	335,000
予稿集論文掲載料収益	200,000	200,000
企業広告収益	2,650,000	2,650,000
抄録料・著作権使用料等収益	50,000	50,000
全国大会収益	2,800,000	2,800,000
学生研究発表会収益	250,000	250,000
受取補助金等	200,000	1,020,000
受取補助金	200,000	1,020,000
雑収益	60,102	62,070
受取利息	102	2,070
雑収益	0	0
期末在庫刊行物	60,000	60,000
経常収益計	19,153,102	19,351,070
(2) 経常費用		
事業費	15,433,314	15,867,630
学会誌印刷費	2,625,000	2,000,000
学会誌別印刷費	500,000	300,000
J-Stageアーカイブ費	400,000	400,000
システム改修費	50,000	727,650
その他印刷費	370,000	361,000
学会誌委託費	1,080,000	800,000
英文誌委託費	700,000	700,000
研究会委託費	1,426,194	1,193,500
研究会委員会支援費	35,000	35,000
その他支援費	655,000	1,206,600
全国大会費	3,830,000	4,700,000
企画セミナー費	100,000	100,000
学生研究発表会運営費	526,320	100,000
支部事業費	209,000	150,000
賃借料	0	10,080
通信運搬費	561,000	757,400
会議費	189,800	166,000
旅費交通費	476,000	421,000
給与手当	734,000	744,000
消耗品費	127,000	137,000
広告宣伝費	550,000	550,000
顕彰事業費	85,000	105,000
租税公課	0	0
雑費	190,000	160,000
予備費	14,000	43,400
管理費	4,680,000	5,222,000
封筒印刷費	70,000	70,000
その他印刷費	20,000	46,000
通信運搬費	150,000	168,000
会議費	0	95,000
旅費交通費	10,000	150,000
消耗品費	0	45,000
租税公課	70,000	70,000
支払報酬料	0	0
事務委託費	3,500,000	3,800,000
Web選考システム運用費	350,000	0
会員情報管理システム運用費	500,000	600,000
雑費	10,000	30,000
予備費	0	148,000
経常費用計	20,113,314	21,089,630
当期経常増減額	△ 960,212	△ 1,738,560
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用		
棚卸減耗費	60,000	60,000
経常外費用計	60,000	60,000
当期経常外増減額	△ 60,000	△ 60,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,020,212	△ 1,798,560
一般正味財産期首残高		
一般正味財産期末残高		
II 正味財産期末残高		

1-付. 正味財産増減予算書内訳表(案)

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:円)

科目	実施事業等会計								法人会計	内部取引控除	合計
	1 全国大会	2 学術研究会	3 機関誌	4 国内協力活動	5 調査研究活動	6 支部活動	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000		50,000
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000		50,000
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	8,697,000		8,697,000
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	7,203,000		7,203,000
学生会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	544,000		544,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	950,000		950,000
事業収益	5,000,000	1,640,000	3,235,000	0	250,000	21,000	0	10,146,000	0		10,146,000
学会誌販売収益	0	0	200,000	0	0	0	0	200,000	0		200,000
研究報告購読料等収益	0	1,440,000	0	0	0	0	0	1,440,000	0		1,440,000
研究報告販売収益	0	200,000	0	0	0	0	0	200,000	0		200,000
その他刊行物販売収益	0	0	0	0	0	21,000	0	21,000	0		21,000
和文誌論文掲載料収益	0	0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	0		2,000,000
英文誌論文掲載料収益	0	0	335,000	0	0	0	0	335,000	0		335,000
予集論文掲載料収益	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	0		200,000
企業広告収益	2,000,000	0	650,000	0	0	0	0	2,650,000	0		2,650,000
抄録料・著作権使用料等収益	0	0	50,000	0	0	0	0	50,000	0		50,000
全国大会収益	2,800,000	0	0	0	0	0	0	2,800,000	0		2,800,000
学生研究発表会収益	0	0	0	0	250,000	0	0	250,000	0		250,000
受取補助金等	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	0		200,000
受取補助金	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	0		200,000
雑収益	0	0	0	0	0	2	0	2	60,100		60,100
受取利息	0	0	0	0	0	2	0	2	100		100
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
期末在庫引物	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000		60,000
	5,200,000	1,640,000	3,235,000	0	250,000	21,000	0	10,346,000	8,807,100	0	19,153,100
(2) 経常費用											
事業費	5,200,000	1,621,994	5,425,000	0	1,266,320	770,000	1,150,000	15,433,314			15,433,314
学会誌印刷費	0	0	2,625,000	0	0	0	0	2,625,000			2,625,000
学会誌別刷印刷費	0	0	500,000	0	0	0	0	500,000			500,000
I-Stageアーカイブ費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000			400,000
システム改修費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000			50,000
その他印刷費	300,000	0	0	0	0	70,000	0	370,000			370,000
学会誌委託費	0	0	1,080,000	0	0	0	0	1,080,000			1,080,000
英文誌委託費	0	0	700,000	0	0	0	0	700,000			700,000
研究会委託費	0	1,426,194	0	0	0	0	0	1,426,194			1,426,194
研究会委員会支援費	0	35,000	0	0	0	0	0	35,000			35,000
その他支援費	0	0	0	0	620,000	35,000	0	655,000			655,000
全国大会費	3,830,000	0	0	0	0	0	0	3,830,000			3,830,000
企画セミナー費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000			100,000
学生研究発表会運営費	0	0	0	0	526,320	0	0	526,320			526,320
支部事業費	0	0	0	0	0	209,000	0	209,000			209,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0			0
通信運搬費	20,000	14,000	500,000	0	0	27,000	0	561,000			561,000
会議費	0	40,800	20,000	0	10,000	119,000	0	189,800			189,800
旅費交通費	250,000	0	0	0	0	226,000	0	476,000			476,000
給与手当	600,000	84,000	0	0	20,000	30,000	0	734,000			734,000
消耗品費	100,000	7,000	0	0	0	20,000	0	127,000			127,000
広報活動費	0	0	0	0	0	0	550,000	550,000			550,000
顕彰事業費	0	15,000	0	0	60,000	10,000	0	85,000			85,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0			0
雑費	0	0	0	0	30,000	10,000	150,000	190,000			190,000
予備費	0	0	0	0	0	14,000	0	14,000			14,000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	4,680,000		4,680,000
封筒印刷費	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000		70,000
その他印刷費	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000		20,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000		150,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000		10,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000		70,000
支払報酬料	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
事務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	3,500,000		3,500,000
Web選挙システム運用費	0	0	0	0	0	0	0	0	350,000		350,000
会員情報管理システム運用費	0	0	0	0	0	0	0	0	500,000		500,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000		10,000
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
経常費用計	5,200,000	1,621,994	5,425,000	0	1,266,320	770,000	1,150,000	15,433,314	4,680,000	0	20,113,314
当期経常増減額	0	18,006	△ 2,190,000	0	△ 1,016,320	△ 748,998	△ 1,150,000	△ 5,087,312	4,127,100	0	△ 960,212
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
棚卸減耗費	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000		60,000
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	0	60,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 60,000	0	△ 60,000
当期一般正味財産増減額	0	18,006	△ 2,190,000	0	△ 1,016,320	△ 748,998	△ 1,150,000	△ 5,087,312	4,067,100	0	△ 1,020,212
一般正味財産期首残高											
一般正味財産期末残高											
II 正味財産期末残高											0

1-付. 正味財産増減予算書内訳表 支部及び委員会 (案)
(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

科目	実施事業会計										委員会小計	7 支部活動						支部小計		
	全国大会		学術研究会		機関誌		調査研究活動					共通 (事務局)	北海道支部	北信越支部	関東支部	東海支部	関西支部		中国支部	九州支部
	全国大会委員会	研究会委員会	学会誌編集委員会	英文誌編集委員会	広報委員会	国内協力活動	人材育成委員会	顕彰委員会	重点領域検討委員会	産学連携委員会										
I 一般正味財産増減の部																				
1. 経常増減の部																				
(1) 経常収益																				
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産受取利息																				
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取入会金																				
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
正会員受取会費																				
学生会員受取会費																				
賛助会員受取会費																				
事業収益	5,000,000	1,640,000	2,900,000	335,000	0	250,000	0	0	0	0	10,125,000	0	0	0	0	0	21,000	0	21,000	
学会誌販売収益			200,000								200,000								0	
研究報告購読料等収益		1,440,000									1,440,000								0	
研究報告販売収益		200,000									200,000								0	
その他刊行物販売収益											0						21,000		21,000	
和文誌論文掲載料収益			2,000,000								2,000,000								0	
英文誌論文掲載料収益				335,000							335,000								0	
予稿集論文掲載料収益	200,000										200,000								0	
企業広告収益	2,000,000		650,000								2,650,000								0	
抄録料・著作権使用料等収益			50,000								50,000								0	
全国大会収益	2,800,000										2,800,000								0	
学生研究発表会収益						250,000					250,000			0					0	
受取補助金等	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金	200,000										200,000								0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	
受取利息											0				2				2	
雑収益											0				2				2	
期末在庫刊行物											0								0	
経常収益計	5,200,000	1,640,000	2,900,000	335,000	0	250,000	0	0	0	0	10,325,000	0	0	0	2	0	21,000	0	21,002	
(2) 経常費用																				
事業費	5,200,000	1,621,994	4,725,000	700,000	0	576,320	60,000	80,000	550,000	1,150,000	14,663,314	130,000	122,000	70,000	278,000	70,000	80,000	20,000	770,000	
学会誌印刷費			2,625,000								2,625,000								0	
学会誌別刷印刷費			500,000								500,000								0	
I-Stageアーカイブ費										400,000	400,000								0	
システム改修費										50,000	50,000								0	
その他印刷費	300,000										300,000			10,000	30,000		30,000		70,000	
学会誌委託費			1,080,000								1,080,000								0	
英文誌委託費				700,000							700,000								0	
研究会委託費		1,426,194									1,426,194								0	
研究会委員会支援費		35,000									35,000								0	
その他支援費						50,000		40,000	530,000		620,000		20,000		15,000				35,000	
全国大会費	3,830,000										3,830,000								0	
企画セミナー費	100,000										100,000								0	
学生研究発表会運営費						526,320					526,320			0					0	
支部事業費											0	30,000		10,000	69,000	70,000	10,000	20,000	209,000	
賃借料		0									0				0				0	
通信運搬費	20,000	14,000	500,000								534,000		2,000	20,000	5,000				27,000	
会議費		40,800	20,000				10,000				70,800		30,000	10,000	39,000		40,000		119,000	
旅費交通費	250,000										250,000	100,000	50,000		76,000				226,000	
給与手当	600,000	84,000					20,000				704,000		20,000	10,000					30,000	
消耗品費	100,000	7,000									107,000			20,000					20,000	
広告宣伝費										550,000	550,000								0	
顕彰事業費		15,000						60,000			75,000				10,000				10,000	
租税公課											0								0	
雑費								10,000	20,000	150,000	180,000			10,000					10,000	
予備費											0			14,000					14,000	
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
封筒印刷費											0								0	
その他印刷費											0								0	
通信運搬費											0								0	
会議費											0								0	
旅費交通費											0								0	
消耗品費											0								0	
租税公課											0								0	
支払報酬料											0								0	
事務委託費											0								0	
Web運営システム運用費											0								0	
会員情報管理システム運用費											0								0	
雑費											0								0	
予備費											0								0	
経常費用計	5,200,000	1,621,994	4,725,000	700,000	0	576,320	60,000	80,000	550,000	1,150,000	14,663,314	130,000	122,000	70,000	278,000	70,000	80,000	20,000	770,000	
当期経常増減額	0	18,006	△ 1,825,000	△ 365,000	0	△ 326,320	△ 60,000	△ 80,000	△ 550,000	△ 1,150,000	△ 4,338,314	△ 130,000	△ 122,000	△ 70,000	△ 277,998	△ 70,000	△ 59,000	△ 20,000	△ 748,998	

2. 経常外増減の部																			
(1) 経常外収益																			
支部活動費繰入金																			
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用																			
前期修正費用																			
棚卸減耗費																			
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	18,006	△ 1,825,000	△ 365,000	0	△ 326,320	△ 60,000	△ 80,000	△ 550,000	△ 1,150,000	△ 4,338,314	△ 130,000	△ 122,000	△ 70,000	△ 277,998	△ 70,000	△ 59,000	△ 20,000	△ 748,998
一般正味財産期首残高											0								0
一般正味財産期末残高																			
II 正味財産期末残高																			